

平成28年度第71回北海道教育研究所連盟研究発表大会(留萌大会) 兼 第58回全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会

平成28年9月1日(木)・2日(金)、留萌中央公民館を会場に北海道教育研究所連盟研究発表大会が開催され、本教育研究所から事務局次長が参加しました。教育上の課題について実践研究等の成果を基に研究協議を行い、学校教育の改善・充実に向けて加盟機関における学校支援機能の向上を図ることを目的に開催されました。

1日目 全体発表・記念講演

□ 全体発表

○ 発表者

平成28年度共同研究推進委員会委員長
留萌教育研究所 中村 弘樹 主任研究委員

○ 第15次共同研究主題 (3年次)

実践的指導力の向上に係る支援の在り方
(北海道教育研究連盟 共同研究推進委員会)

○ 研究内容

研究内容1

「授業改善」及び授業改善を促す「校内研修」支援の在り方

- ・ 授業改善のための支援
- ・ 校内研修活性化に向けた支援

研究内容2

地域の実情やニーズ、教員のライフステージに応じた「教員研修」支援の在り方

- ・ 教員研修の充実に関する支援

□ 記念講演

○ 演題

教員の資質能力の向上を図る
教員研修の在り方
～次期学習指導要領で、
求められる教員の資質能力～

○ 講師

国立教育政策研究所教育課程研究センター
総合研究官 銀島 文氏

2日目 分科会

第2部では「校内研修会の活性化に関わる取組」について話し合われました。胆振教育研究所の宮村直人事務局次長が「課題意識を高め、全員が参画できる校内研修を目指して～教師の授業力を高め、児童生徒の学力向上につながる研修の充実」と題して、研究発表をしました。

その後のグループ協議において、「短時間で行う校内研修に向けての支援」、「各機関の取組を普及させるための方策」について話し合いました。その中で、各校の実態把握を行った上で、ニーズに応じながらガイドブックやマニュアルなどを作成していくこと、さらにホームページや刊行物を活用しながら発信するとともに、人的協力をしていくことが大切であるなどの意見が出されていました。

〈共同研究推進委員会の取組〉

- 1 研究内容に関わる実践事例の収集・提供、各機関の事業への活用
- 2 教員研修の実態を捉える「教員研修に係るアンケート」調査
- 3 所員としての力量向上の研修

※研究発表大会の詳細につきましては、北海道教育研究所連盟のホームページをご覧ください。
随時更新される予定です。(http://www.dokenren.hokkaido-c.ed.jp/index.html)

胆振教育研究所

平成28年10月27日発行

所報 いぶり

第4号

CONTENTS

- 今年度の研究について
- 冬期研修講座(ミニ道研)について
- 研究委託校・実践校の紹介
- 北海道教育研究所連盟研究発表大会(留萌大会)

理論研究 今年度の研究について

〈研究主題〉

子どもの道徳的実践力を高める道徳教育の充実
～道徳科を要とした取組を通して～(2年次)

〈主題設定の理由〉

現在、子どもたちを取り巻く社会の状況、環境が日を追うごとに変化しています。科学技術の発展によって社会は高度情報化され、一人一人が携帯電話、スマートフォンを保有する時代となりつつあります。情報を取得する手段が多様化し、SNSを利用したり、ブラウザを閲覧したりすることで、誰もがいつでもどこでも検索できるようになり、便利になってきました。

その反面、子どもたち同士の関係性が希薄になってきており、友だちとどのようにかかわっていけばよいのか分からないと悩みを抱えていたり、周囲が気になってしまい自分のしたいことを見失っていたりするなど、心にたくさんのストレスを抱えて過ごしています。

これらの問題を解決するためには、児童生徒一人一人が多様な価値観の存在を認めつつ、自ら何を感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を目指す資質や能力(道徳的実践力)を備えることがこれまで以上に大事になってきています。こうした資質や能力の育成に向けて、道徳教育が大切であることは明らかです。

本教育研究所では、平成30年度から小学校で、平成31年度から中学校で道徳科が完全実施されることから、教科化に向けて「道徳教育の在り方」に関する研究に視点を当て、研究主題を設定しました。

〈平成27年度の取組〉

◎理論研究の基礎・基本

- ・ 道徳教育の目標
- ・ 道徳教育の推進(全体計画・各学年の指導計画・別業)
- ・ 道徳科の授業づくり

〈平成28年度の取組〉

◎理論研究に基づく実践研究

- ・ 理論に基づく道徳科授業実践の検証
- ・ 成果を上げている道徳教育実践の収集
- ・ 授業実践の収集
- ・ 第2年次の成果と課題

〈平成29年度の取組(予定)〉

◎理論研究のまとめ

- ・ 道徳教育全体に関わる要点の整理
- ・ 道徳科における評価の在り方
- ・ 研究のまとめ

教育理論に関する研究の紀要として発行(2月末予定)

調査課題研究

今年度の研究について

胆振管内の小中学校を対象に、各校における「アクティブ・ラーニング」の取組について、アンケート調査を実施（8月）



アンケートの集計結果から、管内の学校における「アクティブ・ラーニング」の取組の状況や課題の明確化

考察を加え、調査課題研究の紀要として発行（2月末予定）

平成28年度 胆振教育研究所

「冬期ミニ道研」のご案内

テーマ：「道德教育と学級経営」

日時：12月26日(月) 9:00～16:00

会場：登別市民会館 大会議室

対象：小・中学校の教員（30名程度）

内容：道德教育について（午前）

○学校の実態や課題を踏まえた道德の指導計画

○道德の時間の授業づくり

学級経営について（午後）

○学級経営の意義

○PDCAのマネジメント・サイクルを踏まえた学級経営の見直し

持ち物：「自校の学校経営計画」、「自身の学級経営案」

※詳細につきましては、各校に送付されている要項をご覧ください。



問い合わせ先

担当：教育支援課主査(研修) 曾根 淳志

Tel：0143-24-9892 Fax：0143-22-6950

Mail：sone.atsushi@pref.hokkaido.lg.jp

胆振教育局ホームページ：<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ibk/>

〒051-8558 室蘭市海岸町1丁目4番1号 むろらん広域センタービル3F

研究委託校・実践校の紹介

厚真町立厚真中央小学校

明るく優しい心もち、
たくましく生きる子どもの育成
～子ども一人一人が道徳的価値の
自覚を深める道徳科を通して～

本校は、道徳科を研究領域とし、3年計画で研究を進めています。

2年次である今年度は、「道徳的価値の自覚を深める指導の充実」をテーマに掲げ、授業者の明確な指導観（価値観・児童観・資料観）に基づいた指導方法の工夫について研究を進めています。

また、授業研究では、グループ協議によるワークショップを行い、授業仮説に基づく指導内容の検証に取り組んでいます。

なお、本校は今年度、北海道教育委員会の道徳教育推進校事業の推進校に指定されています。

公開研究会
11月17日(木)



壮瞥町立久保内中学校

基本的な学習習慣を身につけ、
主体的に学習に取り組む生徒を育成する
～家庭学習が生かされる授業の工夫～

本校では、3年計画で「基本的な学習習慣を身につけ、主体的に取り組む生徒を育成する」を主題に教科研究に取り組んでいます。「わかった・できた」「やってみよう」という達成感や意欲が主体的な学習には不可欠であると考えました。予習として取り組ませた宿題の内容が授業で生かされることで、授業に意欲的に取り組み、自分の考えを積極的に発表する姿が見られるようになりました。

公開研では、宿題を学習課題や学習活動とリンクさせた授業を観ていただき、忌憚のないご意見をいただきたいと思っています。

公開研究会
11月18日(金)



研究委託校・実践校の紹介

伊達市立東小学校

みんなが分かる・できる
授業づくりを目指して
～問題解決的な学習の展開を通して～

本校では、「みんなが分かる・できる授業づくり」を目指し、国語・算数・特別支援ブロックに分かれ、研究を始めて3年目になります。

初年度は学習の基礎固めから始めました。日課表の改訂、朝自習や宿題の取組、学習規律の統一など進める中で、授業づくりをしてきました。少しずつ学習意欲が高まり、基礎学力が身に付く中で、個人差という課題が大きくなってきました。今年度は研究のまとめの年です。子どもたち同士のかかわりを大事にした授業づくりを進めています。

公開研究会
11月18日(金)



2年 国語科「たんぼぼの ちえ」



3年 算数科「わり算を考えよう」

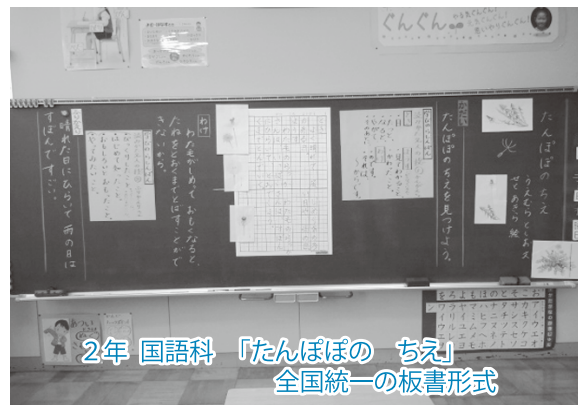
豊浦町立礼文華小学校

「確かな読み」を身に付け、
自分の考えをもつ子どもの育成
～個に応じた指導の充実を図る
読むこと領域の指導を通して～

本校は、3年計画で国語科の研究に取り組んでおり、今年度は2年次にあたります。研究主題を『「確かな読み」を身に付け、自分の考えをもつ子どもの育成』と設定し、「読むこと」領域全体について研究を進めています。「確かな読み」を身に付けることで、教材文以外の本や文章、実生活にも応用できる「読む力」が育まれるよう、本校の実態（極小規模校・複式形態）に応じた多様な指導方法・授業構築について探っています。

来年度は公開研究会を行いますので、是非来校していただき、忌憚のないご意見をお願いいたします。

公開研究会
次年度開催予定



2年 国語科「たんぼぼの ちえ」
全国統一の板書形式



4、5年 道徳 全職員による授業参観

研究委託校・実践校の紹介

白老町立竹浦小学校

生きて働く「言葉の力」
を育てる指導法の工夫
～「話すこと・聞くこと」における
指導の工夫を通して～

「話すこと・聞くこと」の指導を通して身に付けさせたい力を、「互いの立場や考えを尊重して、言葉で伝え合う力」ととらえ、他教科等との連携を図りながら研究を推進しています。年2回の「児童アンケート」の集計結果から、「話すこと・聞くこと」が、どの程度「できる」と感じているのかを把握し、その結果を授業改善に活用しています。

また、「身に付けさせたい話す力・聞く力一覧表」を作成し、1年生から6年生まで、学年の系統性を踏まえた指導の工夫をしています。

公開研究会
次年度開催予定



5年 国語科「きいて、きいて、きいてみよう」
ICTを活用したふり返りをしている。



5年 国語科「きいて、きいて、きいてみよう」
役割を決めてグループで話し合いをしている。

厚真町立上厚真小学校

生き生きと学び、
伝え合う子どもの育成
～算数科における課題解決型学習を通して
コミュニケーションを育てる～

本校では、研究主題を、「生き生きと学び、伝え合う子どもの育成」と設定しています。算数科の課題解決型学習を通して、「意欲的に学習に取り組み、進んで課題と向き合う子ども」「自分の考えを伝え合い、深めようとする子ども」の育成を目指します。

そのために、「多様な形態による交流場面の工夫」「児童一人一人が考えをもてるワークシートやノート指導の充実」「既習事項を生かした、課題解決を促す教室環境整備」など、算数への興味・関心を高める指導方法の工夫等の研究に取り組んでいます。

公開研究会
次年度開催予定



3年 算数科 自分の考えを分かりやすく
伝え合う交流の工夫



3年 算数科 一人一人が自分なりの考えを
もつためのワークシートの工夫